

<追加>
既存団体様

東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金推薦申請書

様式 1

東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金運用管理委員会 御中

以下により応援金の推薦申請をいたします。

申請日	2012 年 12 月 28 日		
団体名	NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちね		
代表者氏名	織田好孝	実施責任者	鈴木薫
連絡先	Mail:suzuki-k@tarachineiwaki.org		
* 事務局からの連絡・書類の送付は、全て実施責任者宛に行います。事業の内容について日常的にお問合せのできる方を実施責任者として選定してください。			
推薦団体活動内容概要			
団体設立年月日	2011 年 11 月 13 日		
法人格取得日	2012 年 12 月 20 日		
助成対象となる事業内容	① 出張甲状腺検診及び広報 ② 心のケア事業の広報		
支援対象者	※対象エリアと受益者数についても言及 ①、②とも福島県内と近隣地域の子どもたち		
応援金使途	※社会的影響の範囲についても言及 ① 出張甲状腺検診のための準備にかかる人件費、出張先のチラシ印刷、折込費。 ② 心のケア事業のチラシ印刷、折込費。 震災から 11 年になる。体の健康面では、初期被曝の影響が癌などの重篤な形で出始める時期になっている。たらちねの検診でも、2021 年以内に 2 名の未成年の癌が見つかった。福島県立医大が実施する甲状腺健診は縮小の報告になり、リスクは高まっているのに早期発見の態勢が後退している。この状況の中で、たらちねの出張甲状腺検診の役割は大きくなっていると思う。 心のケアは、2011 年前後に生まれた子どもたちが成長し、学校などでの問題が出始めている。学習障害、不登校などの問題や、子育てをする保護者自身が震災で負った心の傷を認識できずに苦しんでいるケースもある。 それらの心の問題を、専門家と連携しながら紐解き、日常の中の安らぎを探すお手伝いをする施設があることを広報により知らせたいと思う。		
弊生協との関係性 ※連携による可能性、社会的影響等	2016 年からパルシステム東京と連携し、甲状腺検診を実施している。2011 年 3 月 11 日の福島第一原発事故は、福島の人々だけでなく、放射性ヨウ素のプルームが通り過ぎた関東地方の人々にとっても大きな不安要因である。 原発事故は、子どもたちの未来を奪ってしまったが、これ以上奪うことがないよう尽くすために、両団体が力を合わせ、健康の見守りを実施している。		
当該事業予算額	3,300,000 円		
申請する応援金の予定額 ※上限 100 万円	1,000,000 円 ※ 応援金確定額ではありません。		

※当申請書の提出期限は、2022 年 1 月 7 日（金）必着

<注意事項>

- ・対象となる活動期間は 2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日までです。
- ・申込時点で未実施のものは、予算（見込）額を申請してください。